

単元名：

「くりの み」

(全 1 時間扱い中 第 1 時)

授業日時 令和 3 年 11 月 9 日 (火) 第 3 校時

授業学級 1 年 1 組

授業会場 1 年 1 組教室

授 業 者

指 導 者

(1) 主眼 (授業の手立てとねらい)

心のどこかにずるい部分を少なからず持っている子どもたちが、きつねとうさぎの気持ちを考える場面で、嘘をついたきつねの気持ちを考えたり発表したりすることを通して、自分自身のずるい部分に気づき、生活を見つめ直すことができるようになる。

(2) 展開

	学習活動	予想される子どもの動き	・指導 ※留意点 《教材》 【評価】	時間
導 入	1. 物語を読む。	・きつねとうさぎが出てきた ・食べ物を探していた ・きつねは食べ物を見つけた	「最初に何をしていた？」 ※きつねが食べ物を隠す場面まで読み、 内容を整理する 《音声・パワーポイント・イラスト》	7
	【学習問題】きつねとうさぎはどんな気持ちで食べ物を探したのか			
	2. きつねとうさぎがどんな気持ちで食べ物を探したのか考える。	・おなかすいたな ・たくさん落ちているといいな ・たくさん食べたいな	「きつねとうさぎはどんな気持ちで食べ物を探したのかな？」	3
	【学習課題】うそをついてうさぎから食べ物をもらったきつねはどんな気持ちだったのだろう			
展 開	3. きつねはどうして嘘をついたのか考える。	・大切な食べ物だから ・教えたくないから ・独り占めしたいから	「きつねはどんな気持ちで嘘をついたのかな？」 ※きつねが嘘をつく場面まで読む 《学習カード》	8
	4. うさぎはどうして栗の実をあげたのか考える。	・うさぎはやさしい ・きつねが困っていると思ったから ・困っている人がいたら助けなきゃだから	「うさぎはどんな気持ちできつねに栗の実をあげたのかな？」	7
	5. 涙を流した時のきつねの気持ちを考える。	・自分が悪かった ・うさぎはなんてやさしいんだ ・自分もうさぎみたいになりたい	「きつねはどんな気持ちで涙を流したのかな？」	10
終 末	6. 振り返りをする。	・友達に嘘をついてしまった ・嘘をつくのはよくない	「最近自分が嘘をついてしまったことや次からどうしたいのか書いてみよう」	10

【評価 (対象)】きつねやうさぎの気持ちを考えたり、自分自身の行動を見つめ直したりすることができる (学習カード)